

市議会報告

本報告書は、令和8年第1回市議会定例会(令和8年2月6日～3月12日)本会議における、教育行政に係る質疑の概要について総務課が取りまとめたものである。

正式な議事録は、後日、議会において作成され、市議会ホームページで公開される。

1. 代表質疑(2月13日、16日)

自由民主党 佐々木 心 議員

<(仮称)国際探究ラボについて>

Q.(仮称)仙台国際探究ラボの設置目的や予定している事業内容について伺う。また、どこに、いつから開設を予定しているのか、併せて伺う。

A. 教育長 本施設は、「国際的な視点に立った教育」の支援拠点として設置するものである。事業内容は大きく4点を想定しており、英語を活用したイベントなど本市の児童生徒に対する学校外の学びの創出や、外国籍児童生徒等への日本語初期指導、新教科の実施に向けた学校支援、教職員向けの研修の実施などを考えているところである。

本施設は、アエル8階の仙台子ども体験プラザの一部を改修して本年12月に設置することを予定しており、その準備を進めてまいりたい。

2. 一般質問(2月17日、18日、19日)

せんだい自民・参政の会 大河原 ふゆこ 議員

<不登校児童生徒支援について>

Q. 不登校や多様な学びの環境整備に対する市長の思い、また、どのようにリーダーシップを発揮し取り組みを進めていくのか、伺う。

A. 市長 学校に通うことに困難さを抱える子どもたちへの支援は、本市の重要課題の一つであり、一人ひとりに応じた丁寧な対応や、自らに合った学びの場や居場所を選択できる環境づくりを進めていく必要があると認識している。

これまで、スクールカウンセラー等による相談支援の充実やステーションの拡充を図ってきたところである。新年度においては、不登校児童生徒の定期健診の実施や学びの多様化学校の設置準備も進め、施策の一層の充実を図っていく。

今後とも、未来を担う子どもたちの学びと健やかな育ちを支えてまいりたい。

< 保護者対応マニュアルの策定について >

Q . 本市においても、いわゆる「モンスターペアレント」への対応も含む、学校と保護者の信頼関係構築に資する対応マニュアルを新年度中に策定すべきと考えるが、教育長の所見を伺う。

A . 教育長 学校では、日々寄せられる様々な要望や相談に対し、教職員が児童生徒や保護者の考えを丁寧に聞き取り、これを受け止めた上で適切に対応することが重要である。

しかしながら、保護者の行き過ぎた言動や要求等に対しては、対応に苦慮する場面も生じており、組織的対応を図るための一定のルールづくりが必要と考えている。

この間、教職員に対しアンケートを行い、保護者対応等の現状把握を行ったところであり、新年度には他都市事例も参考に、マニュアルを策定することとしているところである。

< 史跡仙台郡山官衙遺跡群整備基本計画について >

Q . 当時の様子がわかる建築物を整備し、遺跡の見える化を実現することもあり得るのか伺う。また、本市は本遺跡を単独の史跡ではなく、周辺文化財と連動した「観光拠点」として、どのように磨き上げ、発信していく考えか、伺う

A . 教育長 遺構の立体復元については、史跡の価値を分かりやすく示す上で有効な手法であると考え、土地の公有化の更なる進展が条件となることから、令和 16 年度以降の次期計画期間に向けて改めて検討してまいりたい。

本史跡は、多賀城跡を含めた他の遺跡との連携により、国内外の人々を魅きつける可能性を有していることから、ガイダンス施設や案内板の充実、周遊コースの設定、海外も意識した情報発信等に取り組み、交流人口の拡大にも寄与してまいりたい。

3 . 予算等審査特別委員会 (2 月 24 日 ~ 3 月 9 日)

【教育費】

< 部活動の地域展開について >

Q . 今後の円滑な地域展開に向けた決意を伺う。

A . 教育長 部活動の地域展開は、学校単位でのチーム編成が困難になるなど、少子化が進む中であっても、生徒が将来に渡ってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するための全国的な大きな動きであり、着実な推進が求められているものと認識している。

引き続き、仙台市部活動地域展開検討協議会において丁寧な議論を重ねながら、それぞれの生徒が、自身のニーズに応じた活動を選択できるよう、活動環境を整え、地域全体で生徒の活動を支える仕組みづくりに取り組んでまいりたい。

< 水泳授業の民間施設等活用について >

Q . 民間等のプール施設を活用した当事業の実施を決定するにあたり、教育局としてどのような思いがあったのか、教育長の所見について伺う。

A . 教育長 水泳授業は、水泳で求められる身体能力を身につけるだけでなく、水の事故を未然に防ぐ力を育む、重要な体育活動の一つであると認識している。

児童生徒が、水の中で安全を確保できるようにするため、学校のプール施設の維持管理コストなどの課題を解決しながら、水泳授業を持続可能なものとしていくことが重要と認識しており、民間プール施設などの協力をいただきながら、着実に取り組んでまいりたい。

【総括質疑】

維新の会仙台市議団 福田 ようすけ 議員

< 小学校給食費の無償化について >

Q . 本年4月から実施される小学校給食費の実質無償化について、本市としては単なる家計支援ではなく、教育の質的向上を図る「未来への投資」として、具体的にどのように取り組んでいくのか、伺う。

A . 教育長 これまで本市では、学校給食法等が掲げる、適切な栄養の摂取による健康の保持増進や、望ましい食習慣の涵養などを着実にやってきたところである。このような観点を踏まえながら、国に対しては給食費の無償化の財源について要求してきたが、この度、本市の独自財源も加え、小学校給食費の完全無償化を実現したところである。

本市の未来を担う児童生徒の健やかな成長を支え、豊かな学校生活を送ることができるよう、魅力ある学校給食の提供に取り組んでまいりたい。